

参議院議員

清水貴之 しみず たかゆき 活動報告



発行：参議院議員 清水貴之事務所 〒662-0916 兵庫県西宮市戸田町4-23-202 / 電話：0798(24)2426 / FAX：0798(24)1942

2023年のご挨拶

令和5年の新しい年がスタートしました。皆様には清々しく、そして希望にあふれる年始を迎えられたことと喜び申し上げます。

昨年のロシアのウクライナ侵攻の影響も重なり、近年、世界の気候変動問題はより一層厳しさを増しています。そのような中、温室効果ガスの排出をゼロにする「2050年カーボンニュートラル」目標に向けて、各地域が脱炭素社会の実現に向け取り組んでいます。日本の脱炭素社会の実現には、地域の脱炭素ドミノの積み重ねが大切です。そのために必要なのは主人公となるそれぞれの地域の元気です。どの地域にも、有名なものから普段は意識しないものに至るまで宝がたくさんあります。そして、地域の宝を活かし輝かせるのは「人」です。

今年の夏で参議院議員になって丸10年を迎えます。幸い多くの方々との出会いに恵まれ、人と人の縁は何を成すにも力になるということを実感しました。これまでの縁、そしてこれから広がる縁を大切に、少しでも皆さまのお役に立ちたいと願っております。

最後に、本年が皆さまにとって素晴らしい一年となりますことを、心からお祈り申し上げます。

参議院議員 清水貴之

昨年も兵庫県内の様々なイベントや式典に参加しました
今年もたくさんの地域に足を運ばせていただきます



▲8月 神戸市中央区
下山手公園夏祭り



▲10月 メリケンパークにて
KOBENIGHT FESTIVAL



▲11月 神戸市兵庫区にて
ひょうごはじまり館開館式典



▲11月 明石市にて豊かな海づくり大会
(天皇后両陛下ご出席)



▲8月 南あわじ市瓦工場視察



▲11月 明石市民柔道大会



▲11月 高橋としえ神戸市議主催
グラウンドゴルフ大会



▲11月
南京町KOBETONRISAMMIT



▲12月
赤穂城跡にて赤穂義士祭

超党派国会議員団による台湾訪問



昨年7月27日から7月30日の4日間、日本の安全保障を考える議員の会のメンバー（石破茂衆議院議員、浜田靖一衆議院議員、長島昭久衆議院議員、清水貴之）で台湾を訪問しました。台湾と日本のメディア双方に注目される中、蔡英文総統、賴清徳副総統との会談や、外交部部長、台湾日本関係協会会長と面談しました。また、国家安全会議、行政院（内閣）、立法院（国会）、国防部、シンクタンクなどを訪問し、台湾と日本の安全保障など重要な議題について意見交換を行いました。さらに、最終日の朝には、2年前の同月日が命日であった李登輝元総統のお墓参りに訪れました。日本にとって台湾は基本的価値の合う重要なパートナーである一方、台湾をとりまく情勢は厳しい状況にあります。訪台を通じて日本にとっても国際社会においても台湾の平和は重要であることを再認識し、国政の一員として微力ながら台湾問題に全力で取り組んで参ります。



▲蔡英文総統との会談



▲行政院長との会談



▲李登輝元総統 墓参り



▲帰国後の記者会見

2022年臨時国会をふりかえって

〈議院運営委員会〉国葬儀について

安倍元総理の国葬儀について、NHK中継による国会審議が行われ、岸田総理に ①国民からの支持が低い理由 ②法的根拠 ③対象者の基準などについて、質問をしました。今回の国葬は、今後の前例や基準となるのか質したところ、総理からは首相経験者の葬儀についてはその都度、時の内閣が責任を持って総合的に判断し、適切な形を決めることだと思っているが、今回の国葬儀を行った後、検証と予算についても確認し、今後の議論に資するような取り組みを進めることは重要であるとの回答が得られました。



〈環境委員会〉大臣の所信的挨拶に対するの質疑

①国内外のエネルギー問題 ②水素社会の実現に向けた取り組み ③大阪・関西万博に向けた取り組みへの国の支援 ④瀬戸内海の再生について大臣に質問をしました。兵庫県内においては、水素ステーションの増設や燃料電池車 (FCV) の普及が急務であることを提議しました。また、瀬戸内海の漁獲量が激減していることに触れ、いきすぎた排水規制を改め「豊かで美しい瀬戸内海の再生」の実現を訴えました。

〈ODA沖繩・北方問題特別委員会〉大臣の所信的挨拶に対するの質疑

国会議員団による台湾への訪問の経験を通して、外務大臣に見解を伺いました。秋にはG7外相会合などが行われ、結果を踏まえ、台湾情勢においては政府としても国際社会の安定にとって台湾の平和が重要であるとの答弁を引き出しました。また、北朝鮮についても同様に、ASEANなどの国際会議の場で北朝鮮問題に対する働きかけを行うと言った決意を伺いました。かねてより力を入れている国連世界食糧計画 (WFP) への活動の後押しを通じて、世界の食糧難や飢餓への支援を訴えました。



仲間が増えました! in2022

10月16日 川西市議会議員選挙

定数24に32人が立候補する激戦の中、日本維新の会公認候補においては立候補した4人全員が見事当選。トップの角田しんじさんをはじめ、さかぐち美佳さん、田中まみさん、内山ゆうすけさんが当選し、現職2人、新人2人と議席を倍増することができました。



11月20日 尼崎市市長選挙・市議会議員補欠選挙

尼崎市市長選と同時に行われた尼崎市議補欠選挙 (欠員1) においては、日本維新の会公認の新人高谷ひろし候補が42,635票獲得し初当選しました。維新、自民、共産の各1人と無所属2人の新人計5人が立候補していた中で、議席を獲得しました。

市長選挙では、維新公認の大原はやと候補が、48,144得票とたくさんの期待をいただいたにもかかわらず、当選を果たすことができませんでした。投じて下さった皆さまの一票を大切に、思いを無にせず兵庫県の発展に務めて参ります。



〈2023年春〉統一地方選挙に向けて

清水貴之の秘書を、それぞれ10年間と3年間務めてくれた赤石理生と有野光洋が、兵庫維新の会から公認され、日々の活動に全力で取り組んでいます。



赤石 理生 (あかいし まさお) 県議会・東灘区

- 1973年12月生
- 神戸弘陵高校卒業
- 携帯電話販売会社経営
- 医療法人経営
- (介護士としての現場経験も有)



有野 光洋 (ありの みつひろ) 明石市議会

- 1980年8月生
- 明石市立大蔵中学校卒業
- 姫路獨協大学外国語学部ドイツ語学専攻
- 元神姫バス運転士
- のじぎく賞受賞(人命救助の功)

清水貴之 (しみずたかゆき)

昭和49年6月29日福岡県生まれ。早稲田大学教育学部卒業。関西学院大学大学院修了 (MBA)。元朝日放送アナウンサー。維新政治塾一期生。平成25年7月の参院選において初当選。令和元年7月 573,427票にて再選。現在2期目。

【所属委員会】環境委員会、議院運営委員会、ODA沖繩・北方問題特別委員会



Instagram takayukishimizu_hyogo

Instagramも是非フォローしてご覧ください! 魅力溢れる兵庫県のステキな場所、オイシイものをご紹介します!

